

5 領域とのつながりを明確化した支援内容④

< ④ 言語・コミュニケーション >

児童発達/放課後等デイサービス・ネオライフ児童園

〜ねらい〜		
① 言語の形成と活用 ② 言語の受容及び表出 ③ コミュニケーションの基礎的能力向上 ④ コミュニケーション手段の選択と活用		
〜具体的な支援内容〜		支援プログラム <一例>
言語の形成と活用	具体的な事象や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。	・伝言ゲーム ・早口言葉 ・SST ・帰りの会にて自分の思い・意見を発表する ・個別学習で、それぞれに合わせた読み書きの練習 ・言葉の練習 (絵カード・写真カード)
受容言語と表出言語の支援	話し言葉や各種の文字・記号等を用いて、相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し、表出する支援を行う。	
人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、協同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援を行う。	
指差し、身振り、サイン等の活用	指差し、身振り、サイン等を用いて環境の理解と意思の伝達ができるように支援する。	
読み書き能力の向上のための支援	発達障害の子どもなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。	
コミュニケーション機器の活用	文字・記号・絵カード、機器等のコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。	
手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用	手話、点字、音声、文字、触覚、わかりやすい表現等による多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。	